

新泉佐野創生

いちばんのまちへの
さらなるステージに挑戦

進化するマニフェスト

2.0

ち

よ

まつ

ひろ

やす

千代松 大耕

4年前、出来ないと言われた
財政健全化団体から脱却しました。

4年前に言われたのって
最初からあきらめてたから…
やろうと思わなかったから…

でも、出来たんです。
出来ないではなく、どうすれば出来るかを考える。

いちばんのまちをめざし、次のステージに挑戦します。
次は、みんなが笑顔になるためのステージです。



通信簿

市役所改革	済	◎特別職の退職金廃止(実施)◎職員能力給の導入(実施) ◎借金の繰上げ償還(実施)◎財政健全化団体からの脱却(実施)
	継続	◎特別職の給与カット(継続)◎人件費の削減(継続) ◎りんくう総合医療センターの経営安定(継続)◎広域行政の推進(継続) ◎民間委託化の推進(継続)◎指定管理者制度の活用(継続)
	未	◎土日開庁時間増(未実施→コンビニ交付導入)
教育改革	済	◎中学校完全給食の導入(実施)◎小中学校の耐震化率100%(実施) ◎幼児教育の公私立格差是正(実施)◎奨学金貸付制度の海外留学への適用(実施)
	継続	◎地域・家庭・学校の連携強化(継続)◎小中学生の学力・体力の向上(継続) ◎市遊休地の売却(継続)
	未	◎道徳教育の時間を優先的に確保(未実施)
医療・健康 子育て、防災 改革	済	◎ゲートキーパー養成研修(実施)◎健康マイレージ制度の導入(実施) ◎こども医療費助成の拡充(実施)◎介護ボランティア制度の導入(実施) ◎妊婦健診補助制度の拡充(実施)
	継続	◎りんくう総合医療センターの医療体制の充実(継続)◎特例子会社誘致(継続) ◎地域防災計画の見直し(継続)◎自主防災組織の結成率向上(継続) ◎東日本大震災復興支援(継続)
経済改革	済	◎国際医療交流拠点づくり 「りんくうタウン泉佐野市域」地域活性化総合特区の指定(実現) ◎「まちの活性課」の創設(実施)◎複数ポイントでのレンタサイクルの導入(実施) ◎イベント助成の拡充(実施)
	継続	◎ファシリティ・マネジメント(継続)◎全国規模の会議や大会の誘致(継続) ◎地元産業支援(継続)◎きめ細かな観光振興(継続) ◎シティセールスの展開(継続)
	未	◎クールジャパンフロント(実現できず)
環境整備	済	◎放置自転車対策の強化(実施)◎ゴミのポイ捨て等への罰則規定の導入(実施) ◎路上喫煙禁止区域の指定(実施)◎環境ボランティア制度の導入(実施)
	継続	◎下水道の普及率の向上(継続)
	未	◎環境ISOの導入(未実施→独自システムの導入) ◎環境ISO導入の民間企業への支援(未実施) ◎ごみ焼却場の岸和田市・貝塚市との広域行政(断念)

10万市民全てが笑顔で暮らせるまちに泉佐野がなるように千代松市長のそばで市政をチェックしてきた「泉佐野笑顔の会」です。今回、千代松市長が4年前に掲げた「進化するマニフェスト」の通信簿を発表しました。

(下の表は全47項目を仕分けしたものです)

結果	項目	備考
完全に実施	20	
継続中	20	
未実施	4	2項目は違う手法で実施
実現した	1	国の権限によるもの
実現できず	1	府の業務によるもの
断念した	1	検討を進めたが断念

マニフェストを
作成するにあたり

今回の通信簿で高い評価を
いただけたのも、4年間にお
ける市民の方々のご協力とご
支援、議会の深いご理解、泉
佐野市職員のがんばりのおか
げです。

心からの感謝を申し上げます。
新たに発表した

「進化するマニフェスト2.0」
の実現に向けて、不撓不屈の
決意でこれからも取り組んで
まいります。

千代松 大耕



CONTENTS

1. 防災・減災対策で安全なまちづくり！	5P
2. 安全・安心してらせるまちづくり！	6P
3. いきいきと暮らせるまちづくり！	7P
4. 子育て支援でこどもを産み育てやすいまちへ！	8P
5. 教育環境の充実によるひとづくり！	9P
6. 流入促進・定住促進によるまちづくり！	10P
7. 地域の絆を深めるまちづくり！	11P
8. バリアフリーで温もりのあるまちづくり！	12P
9. 全てのひとが輝くまちづくり！	13P
10. 地域の産業が元気になるまちづくり！	14P
11. 100年後につながるまちづくり！	15P
12. 国内外の人々が多く集うまちづくり！	16P
13. 体力向上・スポーツ振興によるまちづくり！	17P
14. 環境にやさしいまちづくり！	18P
15. 世界に羽ばたくまちづくり！	19P
16. 改革をゆるめない市役所づくり！	20P
17. 創意と工夫による市役所づくり！	21P
18. 広域でより効果的、効率的な市役所づくり！	22P

市民防災の日と大防災訓練

全国各地で甚大な自然災害が発生し、尊い生命が奪われています。泉佐野市では昨年10月の台風19号で多数の浸水被害が発生し、ふるさと応援寄附金を財源とした「被災者支援事業」を実施しました。大規模自然災害への対応には「自助・共助・公助」による取り組みが重要です。東南海・南海トラフ巨大地震の発生が危惧されている中、「市民防災の日」を制定し、市域全体を対象にした「大防災訓練」を実施します。

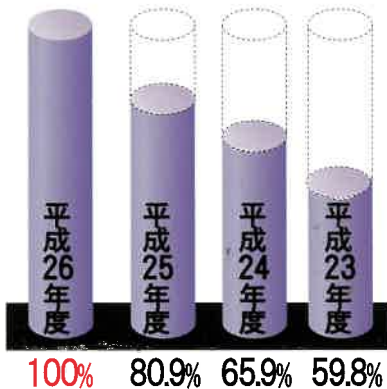


笠松町の草の根防災訓練であいさつ

泉佐野市を強靱化！

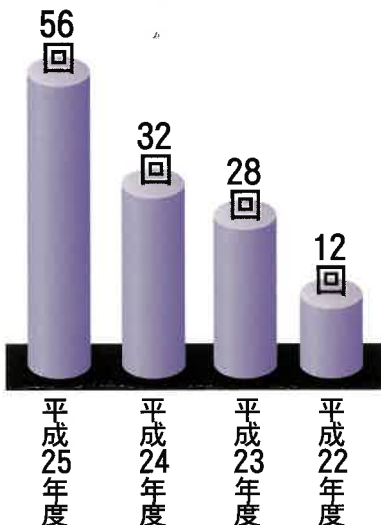
泉佐野市では、学校教育施設の耐震化を最優先で進めてまいりました。その結果、当初の予定より1年前倒しして、平成26年度で学校教育施設の耐震化率100%を達成しました。次の段階として災害対策本部の設置場所となる「泉佐野市役所」や避難所として開設する「市民総合体育館」などの公共施設の耐震化を進めます。また今後2力年をかけて「防災行政無線」の整備をおこないます。

学校教育施設の耐震化率



防災のための絆づくり！

各地域で「草の根防災訓練」を実施していただいている「自主防災組織」は、平成23年3月時点では市内11団体でありましたが、現在は市内81の町会・自治会の内、61団体で結成され、自主防災組織連絡協議会を設立しました。「共助力」を高めるためも、さらに自主防災組織の結成率を高めるように努めます。あわせて災害発生時の要支援者の方々への「地域の絆づくり登録制度」と「防災士」資格の普及に取り組みます。



草の根防災訓練の実施数

人口減少社会の克服

まちの灯りキラキラ！

「住民が安心して暮らせるまちづくり」は多くの方々の願いです。「夜道が暗いので防犯灯を設置してほしい。」という要望は市内各地から多く寄せられてきました。防犯灯の設置に関しては町会・自治会で実施していただいています。昨年度に、時限的に実施しました町会・自治会への「防犯灯LED化のための補助枠拡大」と「新設防犯灯補助の増額」を継続し、市内の防犯灯LED化をさらに進めます。

市内防犯灯のLED化率

	本数	LED化率
平成23年度	5本	0.06%
平成24年度	163本	2%
平成25年度	321本	4%
平成26年度	1,325本	17%

防犯カメラで安全・安心！

「防犯カメラに写っていた映像」が犯人検挙の決め手になった事件が報道されています。そして防犯カメラは街頭犯罪を抑制する効果につながります。今年の4月から市内の駅周辺に48ヶ所の防犯カメラを設置しています。しかし駅周辺だけでなく、通学途中の児童・生徒たちを狙った変質的な事件が多く起こっています。児童・生徒たちや住民の方々がより安全・安心に暮らせるために、通学路に防犯カメラを設置していきます。



泉佐野市では街頭犯罪が多い駅周辺にまず設置しました。

65歳以上の高齢者の方々には「自転車用ヘルメット」を配布

昨年度は、泉佐野警察署管内での交通事故による死者が0でした。(平成27年2月末時点)引き続き、泉佐野警察署をはじめ各関係機関との連携を深め、効果的な交通安全啓発に取り組みます。また近年は自転車による事故が多発しています。自転車事故による大怪我を防ぐために、自転車を利用する65歳以上の高齢者の方々には「自転車用ヘルメット」をお配りし、普及に努めます。

泉佐野警察署管内での交通事故数

	件数	死者	負傷者
平成23年度	691件	4人	844人
平成24年度	778件	4人	954人
平成25年度	707件	6人	876人
平成26年度	727件	0人	943人

2

安全・安心してくらせるまちづくり！

人口減少社会の克服

安定した医療の提供！

泉佐野市には高度医療を備えた泉州地域の中核病院である「りんくう総合医療センター」があり、平成25年4月には大阪府立泉州救命救急センターと統合しました。安全安心な医療の提供のため、りんくう総合医療センターの経営をこれからも支援していきます。また平成26年4月に、熊取町以南の3市3町でりんくうタウンに開業しました「泉州南部初期急病センター」の機能を高め、小児科救急医療の充実を図ります。



りんくう教育研修棟オープン！

いつまでも健康と生きがいを！

昭和25年には総人口の5%に満たなかった65歳以上の高齢者人口は、今では24%を越えています。長寿社会に大切なことは高齢者の方々がいつまでも元気に生きがいを持ちながら生活することです。長生会連合会をはじめとする各種団体の活動を支援し、高齢者の方々の社会参加の機会を増やすとともに、介護予防事業の充実を図ります。



長生会のゲートボール大会であいさつ

健康都市宣言

市民一人ひとりの健康づくりには、疾病の早期発見・早期治療が重要です。予防医療の観点からも各種健診事業の充実に努めるとともに、「健康マイレージ制度」をはじめとした受診率向上のための施策を引き続きおこないます。そして全ての市民が健康に生活できる都市をめざして「健康都市宣言」をおこない、市全体として健康に取り組むまちづくりを進めます。



第22回泉州国際市民マラソンに参加



いきいきと暮らせるまちづくり！

人口減少社会の克服

お悩みのご夫婦を応援！

こどもに恵まれない夫婦は年々増加しており、10組に1組は「不妊」に悩まれていると言われています。「不妊治療」に関しては、大阪府が実施している助成制度がありますが、対象外の夫婦や「一般不妊治療」を受ける夫婦への泉佐野市独自の「**不妊治療助成制度**」を設けます。また妊娠はしても流産や死産を繰り返す「**不育症**」に関する治療も助成制度の対象とします。



実費負担なしの最高水準！

泉佐野市では、大阪府下で最低水準であった「**妊婦健診補助制度**」を平成23年度から公費負担の引き上げを**4回実施**しました。今年の4月から、大阪府下で最高水準の公費負担まで引き上げ、実費負担なしで医療機関での受診ができることになりました。母子ともに安心して出産を迎えられるように「**妊婦健診補助制度**」については、大阪府下で最高水準の公費負担を維持します。

妊婦健診補助額合計の推移

	補助額合計
平成23年9月議会	53,390円
平成25年9月議会	74,590円
平成26年3月議会	81,590円
平成27年3月議会	116,840円 公費負担最高額

中学3年生までの引き上げ！

「**こども医療費助成制度**」は平成26年度から中学3年生まで入院助成を引き上げ、今年の4月から小学4年生までの通院助成の引き上げをおこないました。しかしながら近隣の市町では、すでに数年前から中学3年生までの通院助成、入院助成をおこなってきた自治体や引き上げをおこなう自治体が増えていきます。泉佐野市では、平成30年度に「**中学3年生までの通院助成の引き上げ**」をおこないます。

こども医療費助成拡充の経緯

	補助額合計
平成24年1月	乳幼児医療費通院助成 通院・就学前まで
平成26年4月	こども医療費入院助成 入院・中学3年生まで
平成27年4月	こども医療費通院助成 通院・小学4年生まで
平成30年4月	こども医療費通院助成 通院・中学3年生まで

4

子育て支援でこどもを産み育てやすいまちへ！

人口減少社会の克服

5 教育環境の充実によるひとづくり！

学力向上プロジェクト！

泉野市内の小中学校における「全国学力学習状況調査」、「全国体力・運動能力調査結果」の平均は、大阪府平均、全国平均を下回っています。平成27年度には「夏休みの短縮」、平成28年度には「土曜授業の実施」によって授業時間の確保に努め、泉野市内小中学生の学力向上を図ります。また平成28年度から市内小学校の3・4年生で、平成29年度から全学年において35人以下の少人数クラスを実現します。

学力向上プロジェクトの実施内容

	実施内容
平成27年度	夏休みの短縮
平成28年度	土曜授業の実施
平成28年度	1クラス35人以下 小学校3・4年対象
平成29年度	1クラス35人以下 小学校全学年対象

きめ細かな教育環境の充実！

平成26年度末で全小中学校の耐震化は完了しましたが、**校舎内の整備**が未だに手つかずに古い状態の学校があります。平成25年度に泉野市内の小中学校では全ての教室に空調設備を設置しました。これからは校舎内の改修や要望が多いトイレの洋式化を進め、古くなっている机や椅子の更新をおこない、教育環境をより充実します。またモデル校にてタブレットを活用したICT教育を実施します。



家庭・地域と連携した道徳教育

平成30年度から小学校で、平成31年度から中学校で「**特別の強化道徳**」が全面实施されます。道徳教育は、人が一生を通じて追求すべき人格形成の根幹に関わるものであり、自立した一人の人間として他者とともにより良く生きるためのものです。「泉野市道徳教育振興条例」を制定し、道徳教育の充実を図ります。また道徳教育の推進には家庭・地域の協力が不可欠です。家庭・地域と連携した道徳教育を進めます。



首相官邸で安倍首相と下村文部科学大臣と

人口減少社会の克服

地方創生に向けた定住促進！

良質な「中古住宅」と「空き地」、「空き店舗」などを登録していただき、市のホームページ等で公開する「**空き家・空き地バンク制度**」を実施し、中古住宅等の流通性を高めます。そして市内で新築住宅を建設・購入する方、または「空き家バンク」に登録された中古住宅を購入、賃貸する方に登記費用最大20万円、引越費用最大10万円を助成する「**住宅総合助成制度**」を実施し、流入促進・定住促進を図ります。



小泉進次郎衆議院議員と
泉佐野で地方創生をしっかりと進めます！

耐震とリフォームのコラボ！

昭和56年以前に旧耐震基準で建てられた木造住宅に対しては「耐震診断」、「耐震設計」、「耐震改修」をそれぞれ補助する「**耐震補助制度**」があります。この「耐震補助制度」を活用して耐震改修工事をおこなう場合は、さらに住宅改造費の一部を助成する「**住宅改造助成制度**」を新たに設けました。「**耐震補助制度**」と「**住宅改造助成制度**」を連携させ、旧耐震基準木造住宅における住環境の改善を進めます。



北側一雄
元国土交通大臣と



あつたか三世代！

高齢者の方々が安心して暮らせる住環境を高めるため、平成26年度から泉佐野市では市内で**三世代同居・近居**をする場合の「**三世代同居支援事業**」を開始しました。今後は三世代・近居のために住宅を取得、または賃貸する場合に、最大10万円の助成を「**住宅総合助成制度**」にさらに上乗せした「**新三世代同居支援事業**」を開始します。また金融機関と連携しての**住宅ローン**の金利引下げ制度も始めます。



泉佐野市は三世代同居・近居を支援します！

流入促進・定住促進によるまちづくり！

人口減少社会の克服

7

地域の絆を深めるまちづくり！

町会・自治会加入で
ゴミ袋が無料に！

泉佐野市では「広報いずみさの」を各町会・自治会で配布していただき、市民の方々へ大切な情報を届けています。町会・自治会を中心に「自主防災組織の結成」、「地域福祉の推進」、「防犯灯の設置」などがおこなわれています。しかし以前に90%を越えていた町会・自治会加入率は現在60%台に落ち込んでいます。町会・自治会に加入している全ての世帯に「ゴミ袋の無料配布」を実施する新たな加入促進策をスタートします。

近隣自治体のゴミ袋代

	容量	1枚単価
岸和田市	45L	45円
泉南市	45L	45円
熊取町	45L	20円
田尻町	50L	50円
泉佐野市		無料

泉佐野市は町会・自治会加入で無料

小地域ネットワーク活動への
支援を充実

少子高齢化社会・核家族化の進展によって、地域のつながりが希薄化していると言われ、孤独死など今まで考えられなかった事象が生じています。現在、泉佐野市内では14地区で「小地域ネットワーク活動」が展開され、ひとり暮らしの高齢者の見守りや「ふれあい交流会」などの地域福祉活動がおこなわれています。温もりのある地域社会をめざして「小地域ネットワーク活動」への支援を充実します。



ひとり暮らし高齢者
さわやか交流会にて

地域に開かれた学校づくり！

現在、泉佐野市内の各学校施設は災害発生時の避難所として指定されています。また各学校施設は、住民の方々が様々な活動を展開する「地域コミュニティ」の活動拠点でもあります。地域への「図書室の開放」などをおこない、学校施設をさらに有効活用させるとともに、地域・家庭・学校が一体になった「催し」を充実させ、学校と地域のつながりをより深める取り組みを進めます。



すこやかフェスタさのであいさつ

人口減少社会の克服

駅からはじまるバリアフリー！

泉佐野市では、主要駅のバリアフリー化を進めています。平成23年度にはJR日根野駅へのエレベーター設置と駅周辺のバリアフリー工事、平成25年度には南海羽倉崎駅にエレベーターの設置とバリアフリー工事を実施しました。平成29年度に南海鶴原駅で「山側にも改札口を設置する」バリアフリー工事を実施します。また駅周辺の整備が進んだJR東佐野駅ではトイレの改築などのバリアフリーを進めます。



コミュニティバスを無料！

泉佐野市内を巡回する「コミュニティバス」は交通弱者の方々にとつては、欠かすことのできない重要な移動手段です。高齢化社会が進むにつれて、さらにその重要性は高まります。高齢者の方々にとって「コミュニティバス」を利用し、外出することが「ひきこもり」防止に役立ちます。「コミュニティバスの運賃を無料」にし、あわせて「観光ポイントや商業施設をルートとしたコミュニティバスの充実」を図ります。

近隣自治体のコミュニティバス料金

	大人	小人
岸和田市	100円	50円
貝塚市	210円	100円
泉南市	100円	50円
阪南市	100円	100円
泉佐野市	無料	無料

泉佐野市は平成27年10月より無料

全ての児童・生徒にやさしい学校！

昨年度に実施した耐震化工事にあわせて佐野台小学校にエレベーターを設置し、平成27年度は校舎建築にともなう、日新小学校にエレベーターを設置します。以前から設置されている第一・第二・長坂・大木・上之郷・日根野小学校、第三・日根野中学校とあわせて合計10校にエレベーターが設置されることになりました。今後は年次的にエレベーターが設置されていない小中学校に設置します。



佐野台小学校のエレベーター設置工事

8 バリアフリーで温もりのあるまちづくり！



全てのひとが輝くまちづくり！

本人通知制度の普及・啓発

泉佐野市では1993年12月1日に

「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」を制定し、部落差別、障害者、高齢者、女性、こども、外国人などさまざまな人権問題の解決を重要な行政課題として位置づけて、人権尊重のまちづくりを進めてきました。これからも戸籍などの個人情報大量不正取得などを防止するため「住民票等の交付に伴う本人通知制度」への登録の啓発を積極的に取り組みます。



泉佐野市人権研究集会であいさつ

地域人材バンクと幅広い就労支援

大阪府の有効求人倍率は1.0を回復し、その後も上昇を続けています。しかし人々のライフスタイルの変化や価値観の多様化などによって雇用のミスマッチが生じ、就労に結びつかないケースも少なくありません。泉佐野市内への就労支援、そしてさまざまな課題を持つ未就労者への支援策として「地域人材バンク・総合支援窓口」を設置し、幅広い就労支援が進められる体制を構築します。



泉佐野・熊取・田尻事業所人権連絡会総会にて

泉佐野の活力を高める男女共同参画！

現在の政権内には女性閣僚が4名（平成27年2月末時点）います。女性がますます社会に進出し、そして活躍できる場をつくるのが泉佐野市の活力を高めることにつながります。ジェンダーフリー（注1）による「自分らしさ」ではなく、「男性らしさ」、「女性らしさ」と男女がお互いの性の違いをより尊重し合いながら共同で参画できる社会をめざす「泉佐野市男女共同参画条例」を制定します。



ジャーナリスト櫻井よし子さんと

泉佐野産(もん)を
バックアップ!

泉佐野市では、古くから都市近郊型農業が盛んであり、府内有数の生鮮野菜の供給地としての役割を果たしてきました。「泉州たまねぎ」、「松波キャベツ」、「泉州水なす」は大阪を代表するブランドになりました。また「泉だこ」、「ワタリガニ」、「がっちり」などの新鮮な魚介類も有名です。「泉佐野農協祭」、「たこカーニバル」などの各種イベントへの支援をはじめ、農林水産業体験教育を推進します。

大阪府下生産高

泉州たまねぎ	大阪府下第1位
松波キャベツ	大阪府下第1位
泉州水なす	大阪府下第1位

「日根野あずきに上之郷なす」ということわざが残っているので水なすの発祥地は泉佐野市上之郷と言われています。

日本タオル発祥の地・泉佐野

「日本におけるタオル発祥の地」である泉佐野市は国内タオルの生産量を四国と二分しています。近年では、更なる品質向上のため、環境対応タオルの研究開発においてもすばらしい成果が出ています。大型看板の設置をはじめ「泉州こだわりタオル」を国内外に積極的にPRするための施策を進めます。また「バル」の拡大や地域プレミアム商品券を活用した地元商業の振興をおこないます。



関空で泉州タオルをPR!

海外からのインバウンド促進!

LCCの就航などにより、関西国際空港では、年間の外国人旅客数が過去最高の600万人をはるかに上回る勢いです。泉佐野市では市内陸部への誘導や市の特産品をPRするためにりんくうタウン駅に観光交流プラザ「りんくうまち処」、関空第2ターミナルに「関空まち処」を開設しました。「りんくうまち処」、「関空まち処」を活かし、泉佐野市内へのインバウンドを増やす観光施策を進めます。



りんくうまち処・関空まち処
123304(いずみさのし)人目
来場記念

半世紀以上の課題を前進!

道路陥没を未然に防ぐ!

ワースト2位の汚名を返上!

古(いにしえ)の時代、ローマ帝国が栄えた大きな要因は、ローマ街道の整備でした。現代でも道路は基礎的社会的インフラであり、泉佐野市では半世紀以上も続く課題として「泉佐野土丸線」の延伸があります。「泉佐野土丸線」の延伸部分を市道として整備・延伸を進めます。また市内の主要幹線で「笠松末広線」の拡幅も昨年、今年と進めています。今後も引き続き、市道「笠松末広線」の拡幅を進めます。

拡幅が進む笠松末広線



50年以上延伸が進まなかった泉佐野土丸線

現在、全国各地で「道路陥没による事故」が生じています。道路陥没は、地下への埋設工事などによる土砂流出が要因とされていて、突然の道路陥没に対し、甚大な被害が出ています。幸いなことに泉佐野市内での陥没事故は発生していませんが、道路陥没事故を未然に防ぐために、市内の市道において陥没が発生する恐れのある危険箇所の調査を進め、「道路陥没防止策」を実施します。

道路の陥没は、
大事故につながるから、
きちんと対策
しないと。



「下水道」は、上水道や道路と同様に重要な生活インフラです。市長就任後の4年間で下水道料金を引き上げることなく、累積赤字が20億円を越えている下水道会計の改善を進めました。また下水道の整備もできる限り進めてきましたが、普及率は大阪府下で能勢町に次いでいまだにワースト2位のままです。市民要望の強い下水道の整備をさらに加速させ、普及率を伸ばします。

泉佐野市の下水道普及率

平成23年度	33.1%
平成24年度	33.8%
平成25年度	34.1%
平成26年度	35.2%

医療特区を活かしたまちづくり

平成23年12月にりんくうタウン・泉

佐野市域が「国際医療交流拠点づくり地域活性化総合特区」に内閣府から指定されました。現在、高度がん治療拠点施設の整備が進んでいます。またりんくうタウンには、りんくう総合医療センターをはじめ、各種医療機関が立地しており、さらには新しく民間病院の進出も予定されています。りんくうタウンにおいて総合特区のインパクトを活かしたまちづくりを進めます。



首相官邸にて野田佳彦首相(当時)から医療特区の指定書をいただく。

大阪府下で初の重要文化的景観！

「日根荘」は鎌倉時代から戦国時代にかけての貴族九条家の荘園で、寺社などの建造物やため池などの景観がほとんど変わらない状態で現存しており、点在する**16ヶ所が国史跡**になっっています。また一昨年には、泉佐野市大木地区の中世以来の良好な歴史的景観が、大阪府下で初めて**重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」**に選定されました。800年前の生活や文化を体感できる日根荘遺跡の**保存事業と積極的なPRをおこないます。**



泉佐野市制65周年記念シンポジウム「日根荘を語る」を開催

フィッシャー・マンズワールドの活性化！

「泉佐野フィッシャー・マンズ・ワールド構想」は、魅力あるウォーターフロントによって、漁業と結びついたサービスマネジメントによる、漁業と結びついたサービスマネジメントの振興を図り、魚食普及や海、船の文化を大きく発信していく構想です。泉佐野漁港と青空市場が現在の場所に移転したときに策定されました。市内有数の観光スポットとして「**海鮮焼市場**」をはじめ、泉佐野フィッシャー・マンズ・ワールド構想区域内(泉佐野漁港周辺地域)の活性化を実現します。



昨年オープンした海鮮焼市場にて

12

国内外の人々が多く集うまちづくり！

体力向上プロジェクト！

毎年、多くの児童や生徒、そして社会人の方々が様々な競技で輝かしい成績を残し、泉佐野市役所を訪問してくれます。日本で一番メダリストを輩出している**日本体育大学と泉佐野市は「体育・スポーツの振興に関する協定」**を結びました。専門家の派遣や交流をはじめ、各種機関との連携・協力により、市内の小中学校を中心に体力向上に向けた取り組みやクラブ活動への支援をおこないます。



日体大出身ロンドンオリンピック代表の田中理恵さんによる体操教室が開催！

多くの人に利用されるスポーツ施設！

泉佐野市では、生涯スポーツを振興するために「いつでもどこでもだれでも」スポーツに親しめる環境づくりを関係団体と連携しながら進めています。市内の体育施設がより幅広く市民の方々に利用されるように老朽化した施設の改善を図ります。新たな防災拠点ともなり、また海外からのスポーツチームなどが大会の前に練習や合宿で使用できるような芝生グラウンドの整備を進めます。



芝生グラウンドが整備された網走スポーツトレーニングフィールド

オリンピックに向けて！

2020年の東京オリンピック開催が決定し、わが国では将来のオリンピック選手の育成が進められています。世界で通用するトップアスリートの育成には、充実したスポーツ環境の整備が必須であります。市内未利用地への「ナショナルトレーニング施設」の誘致を進めるとともに、リオデジャネイロオリンピック出場が期待される泉佐野市出身のトップアスリートを、さらに応援していく体制をつくります。



ヤンマースタジアムで市民優待デーを開催！

花いっぱい！プロジェクト

悠久の歴史と自然によって育まれてきた田園風景が広がる大木地区の農村景観が重要な文化的景観に選定されたことを受けて、以前に実施されたことのある「大木のコスモス畑」を復活させます。また東京都品川区でおこなわれている「緑と花のプロジェクト」をモデルにして、泉佐野市で市民の方々の手による「花いっぱい」のプロムナードを実現します。



大木の
担いだんじりにて



大木地区の田園風景

高齢者雇用で 美しいまちづくり！

世界保健機関(WHO)が発表した日本の男性の平均寿命は80歳、女性は87歳で男女平均では84歳で世界第一位の長寿国です。また泉佐野市の65歳以上の人口は23.8%です。少子高齢化社会において高齢化率が高まっていく中では「高齢者の方々の働く場」が重要です。泉佐野市シルバー人材センターと連携し、「犬のフン放置対策」や「まちの美化対策」で高齢者雇用を創出します。



環境美化活動協力員さんと
清掃活動

再生エネルギーを地産地消！

泉佐野市では学校教育施設の屋上に太陽光パネルの設置や民間企業への貸し出しをおこない、再生可能エネルギーの活用に使っています。あわせて「家庭用燃料電池コージエネレーションシステム設置補助制度」を創設しました。新たに設立した一般財団法人「泉佐野電力」で地元の再生可能エネルギーを購入し、市内の公共施設に電力供給をおこないながら、エネルギーの「地産地消」に取り組みます。



佐野工科高校が設計・開発した
電気自動車を泉佐野市が導入

海外友好都市との友好交流！

泉佐野市は中国上海市徐匯区、モンゴル国トウブ県と姉妹都市であり、また中国上海市宝山区、オーストラリアクイーンズランド州サンシャインコーストシティと友好都市の交流を続けています。昨年度から市内中学生のトウブ県での研修、市内小学生によるサンシャインコーストシティとの絵画交流など新しい交流を始めました。トウブ県からの中学生の受入など、さらに姉妹都市、友好都市との交流を深めます。



姉妹都市のモンゴル国トウブ県知事と横綱白鵬関を訪問

橋を渡れば世界が広がる！

現在の関西国際空港は、年間旅客数が開港以来最高の2000万人を突破する勢いです。私たちの住んでいる泉佐野市は、関空に一番近いまちとして「橋を渡れば世界が広がっている」という好条件に恵まれています。一昨年から、町会連合会をはじめ、各種団体ではピーチ便を使い、研修先を訪れています。泉佐野市や関係団体の研修等では、これからも積極的に関空を利用します。



子どもたちに大人気！
ピーチすべり台登場！

グローバル社会への対応！

グローバル社会が進む中において外国の人々と臆することなくコミュニケーションをとるには、幼少期からの英語教育が重要です。とりわけ外国人の宿泊者数が全国の市区町村で第8位の泉佐野市には、海外から多くの人々が訪れています。現在、大阪府教育委員会のモデル事業として長南小学校・長南中学校で実施している「英語教育推進事業」を市内全ての小中学校で展開します。



青少年を派遣しているオーストラリアサンシャインコーストシティの市長と

未来に向けた成長戦略

中期財政計画による行財政運営

当初、平成39年度までの19年間をかけて脱却する予定の財政健全化計画をスピードアップさせ、昨年に**14年前倒しで財政健全化団体から脱却**することができました。しかし高水準の公債費負担はこれからも続きます。泉佐野市では、今後5年間の行財政運営の指針となる「**中期財政計画**」を策定しました。今後は中期財政計画に基づいて、**泉佐野市が再び財政健全化団体に陥らないような行財政運営を進めます。**

泉佐野市の職員数と人件費(普通会計)

	職員数	人件費
平成23年度	711人	69億5,280万円
平成24年度	686人	63億1,458万円
平成25年度	529人	51億3,590万円
平成26年度	512人	51億9,718万円
平成27年度	487人	52億8,197万円

民間でできることは民間へ

泉佐野市では、「民間でできることは民間に」を市政運営の基本とし、全ての市の業務を精査した上で「**公務員でなければできない業務**」以外は**すべて民間委託化**の検討を進めてきました。平成27年度からは留守家庭児童会、市民課窓口業務、市直営の道路清掃などを民間委託しました。民間委託時の仕様書にもなる「**業務のマニュアル化**」に取り組み、引き続き**民間委託を進めます。**



橋下徹大阪市長と

公共施設に民間活力を導入!

平成18年度から創設されました**指定管理者制度**により、泉佐野市では民間活力の導入を図りながら、現在は「エブノ泉の森ホール」をはじめ、14施設で公共施設の指定管理者による運営をおこなっています。去る3月議会では市営プールの指定管理者制度導入が承認されました。**残りの全ての公共施設につきましても民間による運営を検討し、指定管理者制度の導入を図ります。**



指定管理者第一号エブノ泉の森ホール

16

改革をゆるめぬ市役所づくり!

未来に向けた成長戦略

制度創設当初である平成20年度の泉佐野市への「ふるさと納税額」は700万円台でしたが、平成26年度末には約60倍の4億5,000万円と大幅に増えました。これは100種類を超える「お礼の品」やクレジット決済を導入するなどのアイデアによるものです。減税対象となる寄付の上限額が住民税の1割から2割へと引き上がるので、さらに創意工夫を凝らし「5億円」「6億円」の水準をめざします。

ふるさと納税の拡充

泉佐野市 ふるさと納税の推移

	ふるさと納税額	件数
平成23年度	633万1,000円	48件
平成24年度	1,902万1,497円	468件
平成25年度	4,604万9,000円	1,989件
平成26年度	4億5,346万1,841円	1万3,445件

17 創意と工夫による市役所づくり！

民間投資を積極的に喚起！

泉佐野市では平成23年12月に策定した「財政健全化実施プラン」により、市が保有する遊休地の積極的な売却を進め、歳入確保に努めてまいりました。平成23年度から平成26年度末までの遊休地の売却額合計は25億円を超えました。施設の統廃合によって生じた新たな遊休地などの市有財産の売却を積極的に進めて、民間投資を喚起するまちづくりを促進します。



開発が進むJR日根野駅周辺

債権管理の強化

平成24年12月議会で「泉佐野市債権管理条例」を制定しました。そして泉佐野市では「負担の公平性」という観点から、一昨年より8月の後半に「アタック30」を実施して、収入未済額の縮減に取り組んでいます。債権管理の取り組みにより、ほとんどの債権において未収金の徴収額が向上しています。債権管理の取り組みを強化し、未収金のさらなる縮減に努めます。

泉佐野市 市税徴収率(決算)

平成23年度	96.96%(大阪府内 第一位)
平成24年度	97.54%(大阪府内 第一位)
平成25年度	98.00%(大阪府内 第一位)
平成26年度 (見込み)	98.10%(大阪府内 第?位)

ゴミ焼却場の広域化に再トライ!

昭和61年に田尻町にある泉佐野市田尻町清掃施設組合第二事業所(ゴミ焼却場)が完成しました。建設後29年が経過し、毎年、老朽化した箇所を修繕しながら、長寿命化を図っています。しかし建設後、約40年が寿命である「ゴミ焼却場」は新たな計画を策定して建て替えを進めなければなりません。具体的な建設予定地等を盛り込んだ新しい「ゴミ処理基本計画」を策定します。



現在のゴミ焼却場(田尻町)

泉佐野でできることは泉佐野で!

様々な権限が国から都道府県、そして市町村へ移譲されています。とりわけ大阪府下におきましては「大阪版 地方分権改革」によって各市町村には、特例市並への権限移譲がおこなわれています。住民にもっとも身近な存在である基礎的自治体では、「権限移譲」を受けることによつて住民サービスが高まると考えます。

「権限移譲」への対応のため、近隣市町との広域連携をより進め、住民サービスの向上を図ります。

市町村への権限移譲

平成25年度	社会福祉法人関係
平成26年度	NPO法人関係
平成27年度	開発行爲の許可・農地転用の許可
平成28年度(予定)	農林関係

自治体クラウドの導入

自治体クラウドの導入により、基幹システムを広域的に複数の自治体で共通化することで、泉佐野市では年間1,000万円の経費削減となります。またより強固なセキュリティが可能となり、大規模災害時のデータ保全が図れるようになります。様々な情報を民間データセンターに移してクラウド上で管理する「自治体クラウドの導入」を泉佐野市では平成29年4月に実施します。



熊取町から岬町までの「泉州南消防組合」が平成25年4月からスタート!

千代松 大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
- 1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
- 2005.3 和歌山大学大学院 修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員 初当選(以降4期連続当選)
- 2004.5 泉佐野市議会 第61代副議長
- 2006.5 泉佐野市監査委員(議会選出)
- 2008.5 泉佐野市議会 第65代議長
- 2011.4 泉佐野市長 初当選



「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

読者の方々からは、「泉佐野市の状況がよくわかる。」といった好評をいただいております。

(((千代松大耕メールマガジン))) 毎日発行しています!

泉佐野市長・千代松大耕が市政の情報、公務の報告などをお届けします。

ホームページアドレス chiyomatsu.jp

登録方法

登録フォームにメールアドレスを入力していただき登録ボタンを押して頂きますと、確認メールが届きます。



フェイスブック、ツイッターもやっています!

携帯用メールマガジンを開設しています!



携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、左記のバーコードを携帯電話で読み取るか、<http://mini.mag2.com/> または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

千代松大耕ブログ「Izumisano未来日誌」を開設しています
<http://plaza.rakuten.co.jp/chiyogiin/>

連絡先

千代松大耕を育てる会 泉佐野市市場東3丁目268-1
キノソービル2F

Tel/072-469-5213 Fax/072-469-5214

ホームページ : chiyomatsu.jp メール : chiyoma51@hotmail.com